

## 組立・施工説明書

# 梁延長セット

アーバンルーフⅡ ワイドタイプ

アーバンルーフⅡ ジャンボタイプ

### 《お願い》

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。  
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

# はじめにお読みください



このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は「梁延長セット」の組み立て、施工について説明しています。本体に同梱、または別冊の説明書をあわせて参照してください。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。







## 本説明書内の表記

### 警告／注意／お願い

- 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

表記	意味
 <b>警告</b>	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
 <b>注意</b>	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
<b>お願い</b>	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

### その他の表記

表記	意味
 <b>改訂</b>	商品や作業の変更点
	作業するうえで必要な情報
	知っておくと便利な情報
	必ずシーリングをする箇所
	電動ドライバーの使用禁止
	電気工事士の資格が必要な作業

- 一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で示しています。

# もくじ

---

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
<b>作業前の確認</b>	<b>P.3</b>
同梱一覧	P.3
全体構成図	P.5
<b>基礎工事の準備</b>	<b>P.6</b>
墨出し	P.6
基礎の掘削	P.6
<b>加工・切断</b>	<b>P.7</b>
柱の切断	P.7
側枠・垂木の加工（梁延長 8m 超の場合）	P.7
前枠の加工（ジャンボタイプの場合）	P.9
梁の加工	P.9
<b>基礎工事</b>	<b>P.14</b>
柱の埋め込み	P.14
基礎の固定	P.14
柱の水抜き穴加工	P.14
延長部柱の位置確認	P.14
基礎コンクリートの打ち込み	P.15
<b>本体フレームの施工</b>	<b>P.16</b>
梁の連結	P.16
梁カバーの取り付け	P.18
梁の取り付け	P.20
前枠の部品付け	P.22
<b>雨樋の施工</b>	<b>P.23</b>
雨樋の施工	P.23
<b>寸法図</b>	<b>P.25</b>
梁延長 8m	P.25
梁延長 10m	P.26

# 安全にお取り扱いいただくために

---



## 作業前に確認してください

- 本体に同梱、または別冊の説明書を参照してください。




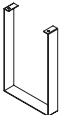

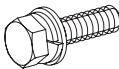
# 作業前の確認

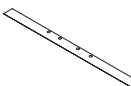


## 同梱一覧

### ■柱ユニット

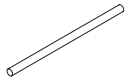
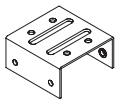




姿 図		
品 名	柱	柱
品 番	<b>2K-71361</b>	<b>2K-71362</b>
JCD-(DS)TA2#ACV	2	—
JCD-(DS)TA28AD-1V	—	1
JCD-(DS)XA28B-1	—	1
備 考	—	—

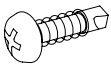
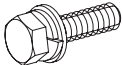
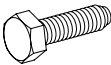



### ■梁ユニット





姿 図						
品 名	梁	梁	梁カバー	梁連結カバーA	梁連結カバーB	座金組込六角ボルト (M10×30)
品 番	<b>3K-97906</b>	<b>3K-97907</b>	<b>2K-71472</b>	<b>6K-17950</b>	<b>6K-17951</b>	<b>5K-19921</b>
JCD-(DS)TB36AV	1	—	1	—	—	—
JCD-(DS)TB48AV	1	—	1	—	—	—
JCD-(DS)TB51AV	1	—	1	—	—	—
JCD-(DS)TB54AV	1	—	1	—	—	—
JCD-(DS)TB60AV	1	—	1	—	—	—
JCD-(DS)TB58BBV	—	1	1	—	—	—
JCD-(DS)TB57BDV	—	1	1	—	—	—
JCD-(DS)TB21BDV	—	1	1	1	1	6
備 考	—	—	—	—	—	梁連結用

姿 図				—
品 名	連結部水密材	トラスタッピンねじ (φ5×16) (ゴムワッシャー付き)	トラスタッピンねじ (φ5×10) (ゴムワッシャー付き)	組立・施工 説明書
品 番	<b>3K-26160</b>	<b>5K-14710</b>	<b>5K-14711</b>	—
JCD-(DS)TB36AV	—	—	—	—
JCD-(DS)TB48AV	—	—	—	—
JCD-(DS)TB51AV	—	—	—	—
JCD-(DS)TB54AV	—	—	—	—
JCD-(DS)TB60AV	—	—	—	—
JCD-(DS)TB58BBV	—	—	—	—
JCD-(DS)TB57BDV	—	—	—	—
JCD-(DS)TB21BDV	1	26	4	1
備 考	—	梁連結用	梁連結カバーA・ B取り付け用	—

■梁延長用部品箱

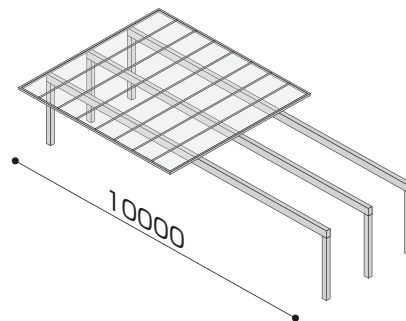
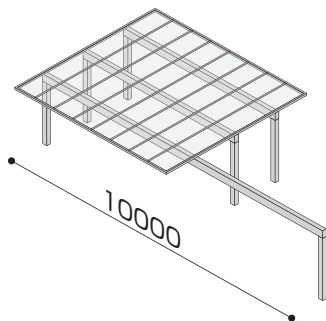
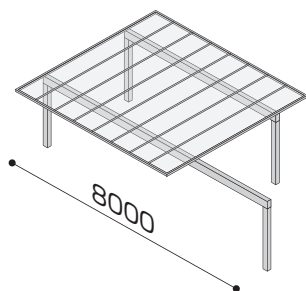
姿 図						
品 名	柱アンカー	柱・梁連結金具	梁キャップ	穴隠し	トラスタッピンねじ (φ5×10) (ゴムワッシャー付き)	雨水受け
品 番	<b>K-11711</b>	<b>5K-11169</b>	<b>3K-31438</b>	<b>K-36980</b>	<b>5K-14711</b>	<b>3K-21037</b>
JCD-(DS)WK5	2	2	2	1	2	2
JCD-(DS)TK5	2	2	2	1	2	2
備 考	—	—	—	—	穴隠し取り付け用	—

姿 図						
品 名	なべドリルねじ (φ4×19)	座金組込六角ボルト (M10×30)	六角ボルト (M10用)	スプリングワッシャー (M10用)	ワッシャー (M10用)	六角ナット (M10用)
品 番	<b>DN-4019</b>	<b>5K-19921</b>	<b>SBH-M10030</b>	<b>SW-10</b>	<b>W-10</b>	<b>N-M10</b>
JCD-(DS)WK5	8	8	8	8	8	8
JCD-(DS)TK5	8	8	8	8	8	8
備 考	梁キャップ 取り付け用	梁連結用	柱・梁連結金具 取り付け用	柱・梁連結金具 取り付け用	柱・梁連結金具 取り付け用	柱・梁連結金具 取り付け用

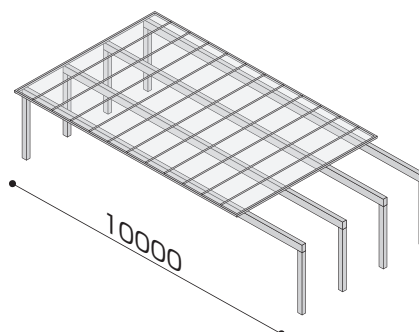
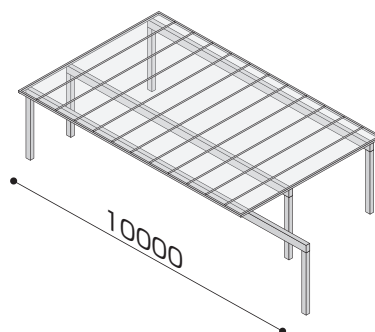
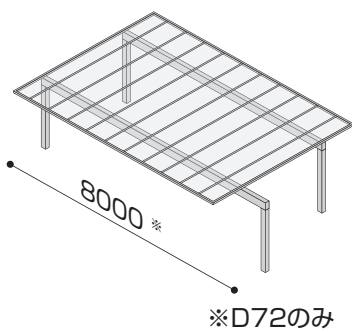
姿 図				
品 名	落下防止ピン	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	穴塞ぎシール
品 番	<b>3K-31079</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>K-40433</b>
JCD-(DS)WK5	6	24	4	28
JCD-(DS)TK5	6	—	—	—
備 考	—	垂木取り付け用	側枠取り付け用	—

## 全体構成図

### ●ワイドタイプ



### ●ジャンボタイプ



# 基礎工事の準備

## ⚠ 注意

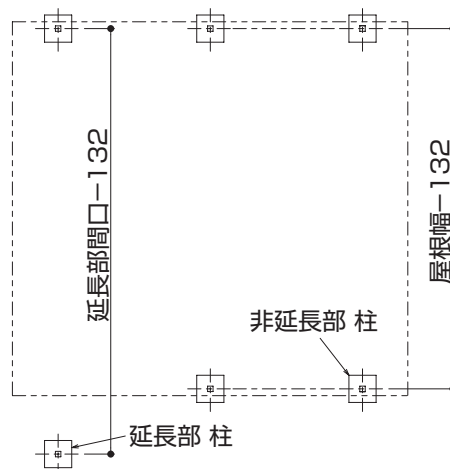
- 給排水配管、ガス管などの地下埋設物に干渉しないよう掘削時に注意してください。思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。商品が倒壊するおそれがあります。
- 基礎底部には割栗石、砂利または碎石を敷き、アルミ柱内に入った水や結露水が地盤に浸透するようにしてください。水が留まると柱の凍結破損や異常腐食につながるおそれがあります。
- 基礎寸法は指定寸法以上で施工してください。地盤の支持力が得られず、商品の沈下や風による転倒で、外壁などの損傷につながるおそれがあります。
- 基礎の根入れ深さは凍結深度より深くしてください。地面の水分が凍る過程で商品が押し上げられ、外壁などの損傷につながるおそれがあります。

## 墨出し

1 寸法図を参考に、延長部の柱の墨出しを行ってください。「寸法図（→P.25）参照」



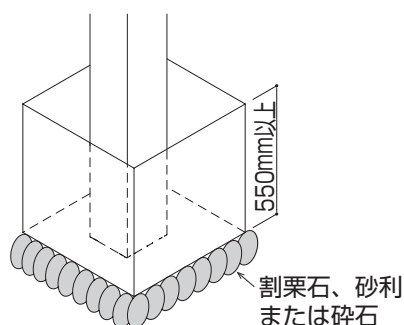
- 梁延長は、どの列でも施工可能です。
- 張り出しは、片側のみとしてください。



## 基礎の掘削

1 本体に同梱の説明書と寸法図を参考に、柱の埋め込み位置を決めて、基礎穴をあけてください。「寸法図（→P.25）参照」

2 基礎部に割栗石、砂利または碎石を敷き均し、突き固めてください。





# 加工・切断

## 柱の切断

1 柱を梁下寸法+565に切断してください。梁下寸法「寸法図（→P.25）参照」



- 柱を切断しない場合は、柱の埋め込みを深くしてください。
- 柱を移動した場合は、移動量にあわせて切断寸法を調整してください。

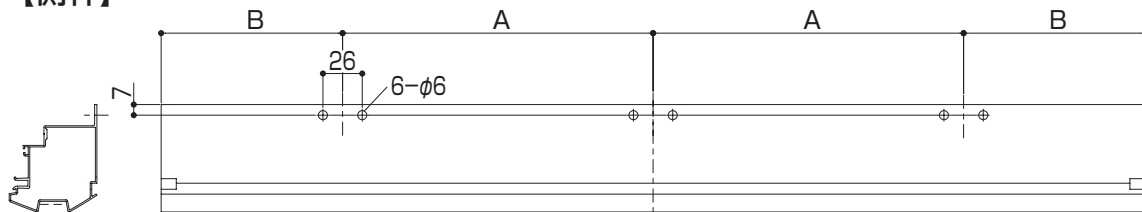
## 側枠・垂木の加工（梁延長 8m 超の場合）

1 側枠、垂木に穴加工してください。

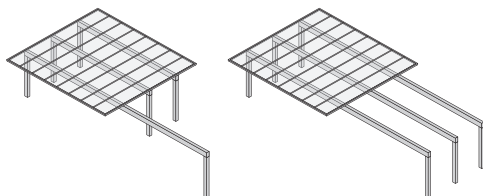
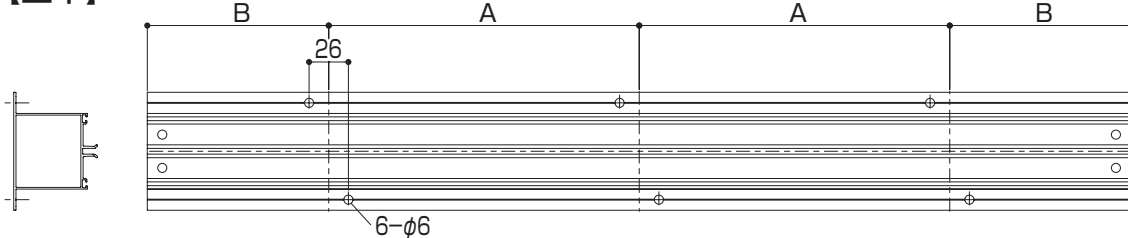
2 既存の穴を穴塞ぎシールで塞いでください。

### ●ワイドタイプ

【側枠】



【垂木】

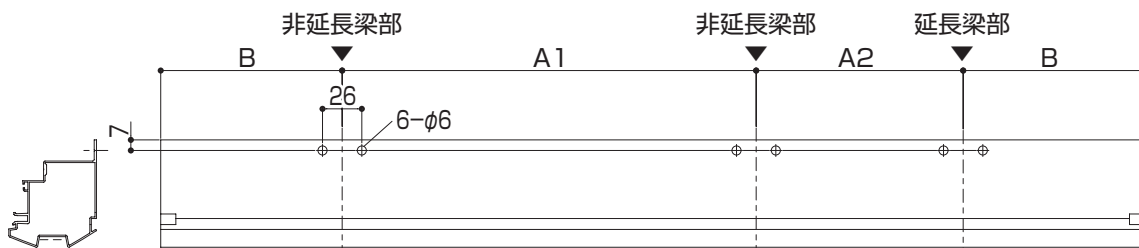


	部材長さ	A	B
L51	4904	1704	748
L54	5253	1905	722
L57	5622	2005	806

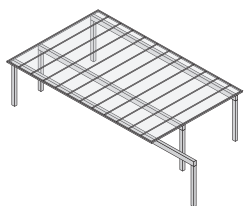
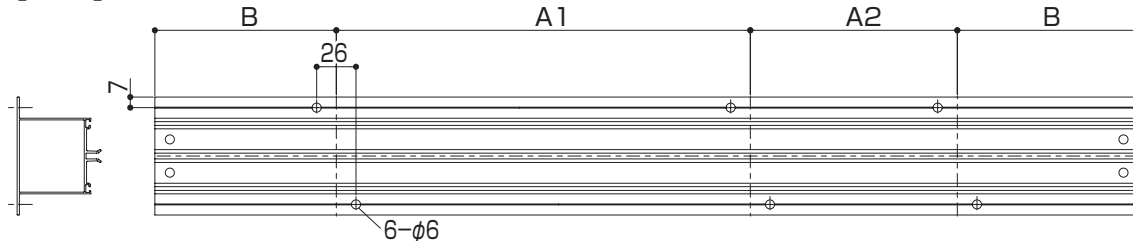
●ジャンボタイプ

【側枠】

左右対称に加工してください。



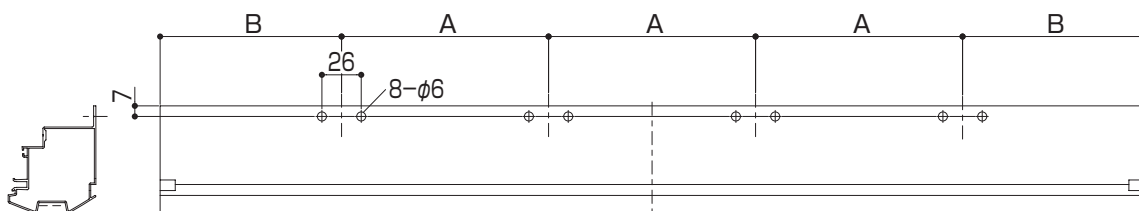
【垂木】



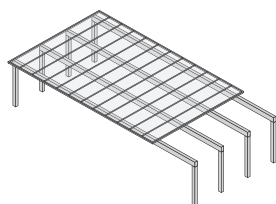
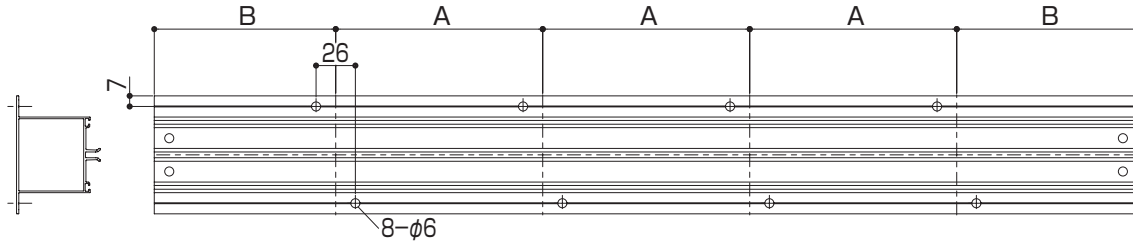
	部材長さ	A1	A2	B
L51	4904	2707	1353	422
L57	5622	3007	1504	556

●ジャンボタイプ

【側枠】



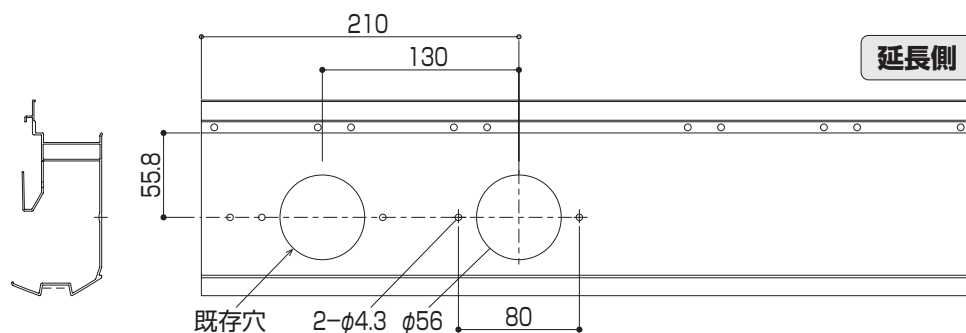
【垂木】



	部材長さ	A	B
L51	4904	1353	422
L57	5622	1504	556

## 前枠の加工 (ジャンボタイプの場合)

1 前枠に穴加工してください。

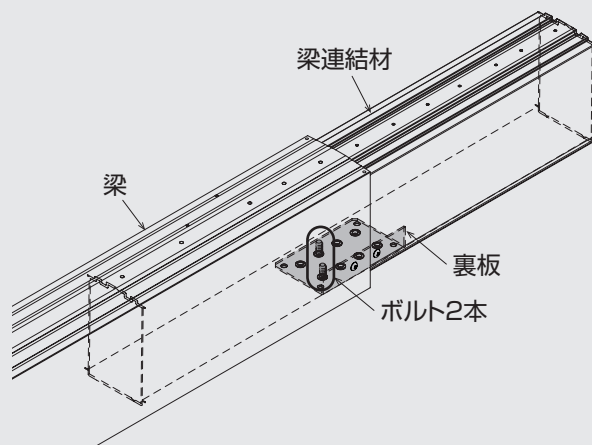


## 梁の加工



● 裏板は梁連結材にねじで取り付け済み、梁連結材は片方の梁にボルト2本で取り付けられて出荷されます。

● 出荷状態



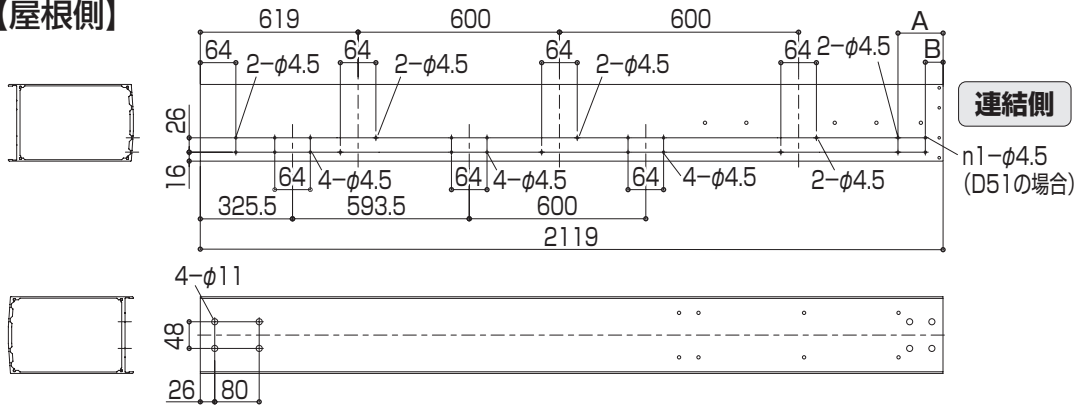
1 梁についている梁連結材を取りはずしてください。

2 梁に穴加工してください。

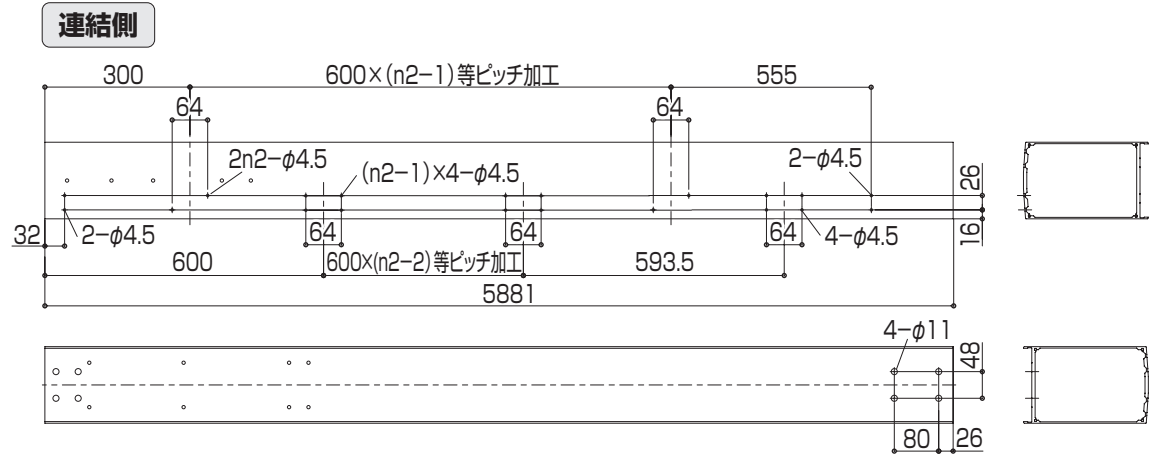
3 梁連結材を梁に取り付けてください。

● 梁延長8m 水下側から見て屋根が左側に取り付く場合

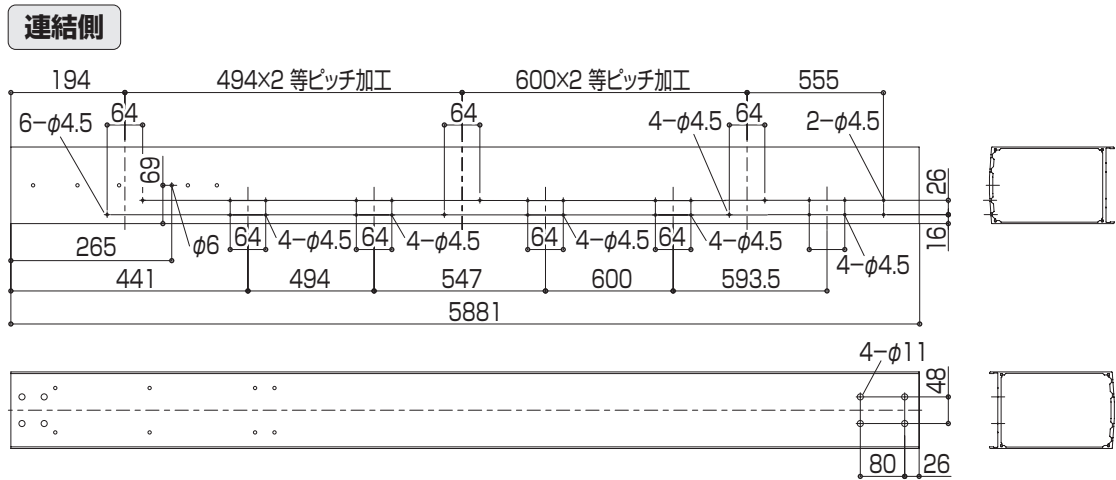
【屋根側】



【梁延長側：D51 以外】



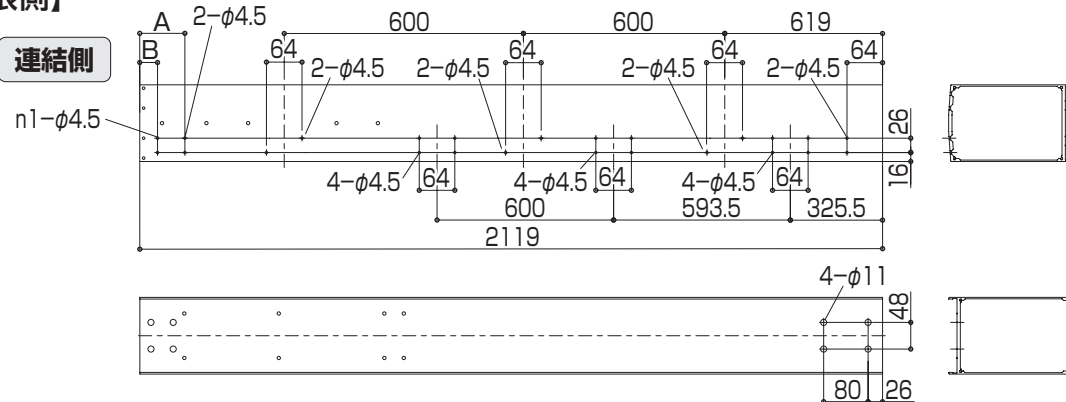
【梁延長側：D51】



間口	A	B	n1	n2
D36	3638	32	—	2
D48	4838	32	—	4
D51	5120	85	21	2
D54	5438	32	—	5
D60	6038	32	—	6
D72	7238	32	—	8

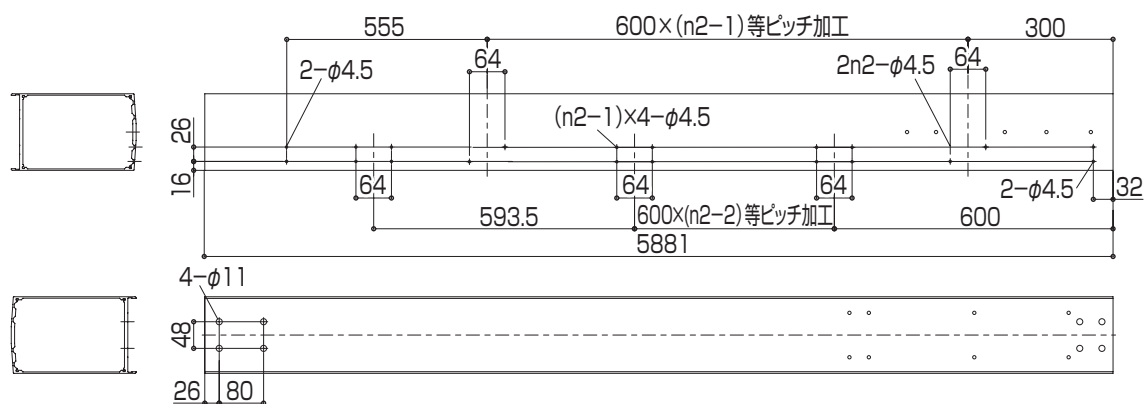
● 梁延長8m 水下側から見て屋根が右側に取り付く場合

【屋根側】



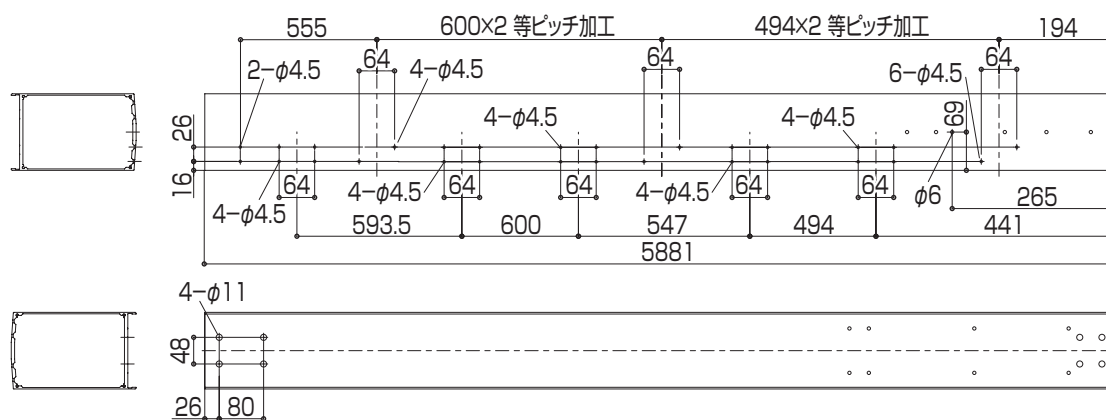
【梁延長側：D51 以外】

連結側



【梁延長側：D51】

連結側

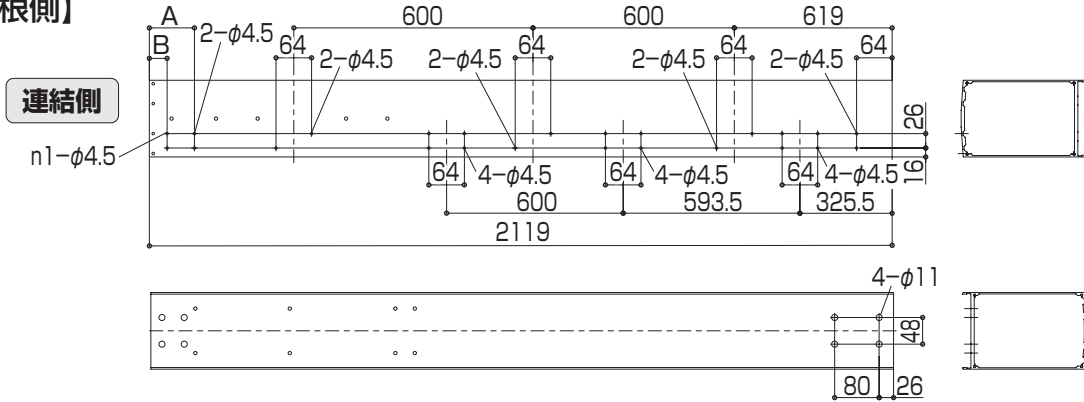


	間口	A	B	n1	n2
D36	3638	32	—	—	2
D48	4838	32	—	—	4
D51	5120	85	21	2	—
D54	5438	32	—	—	5
D60	6038	32	—	—	6
D72	7238	32	—	—	8

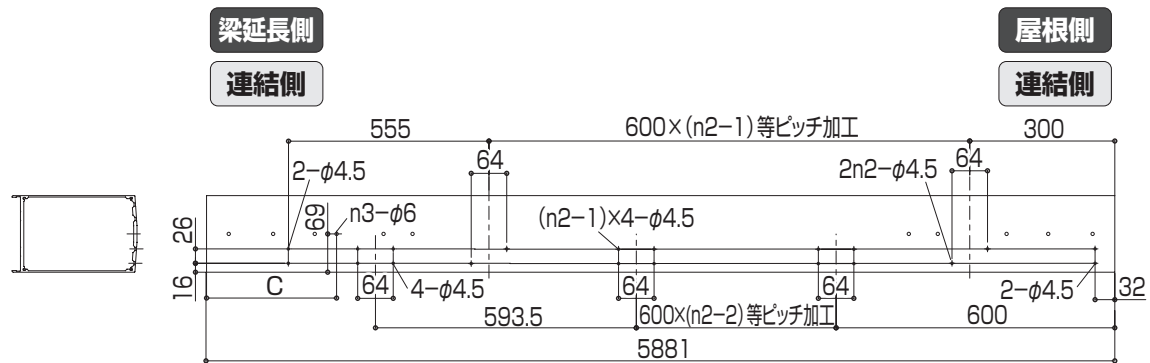


● 梁延長10m 水下側から見て屋根が右側に取り付く場合

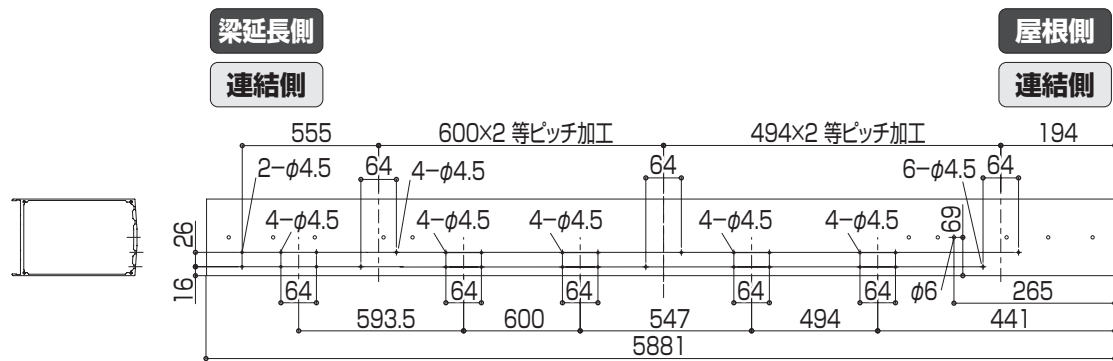
【屋根側】



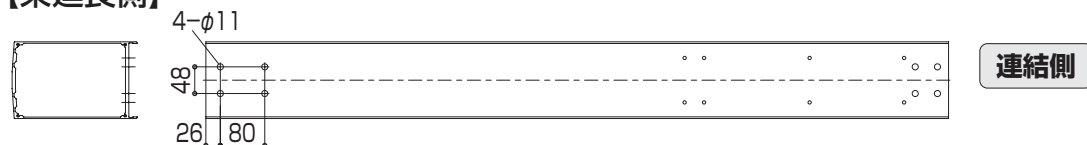
【中央：D51 以外】



【中央：D51】



【梁延長側】



	間口	A	B	C	n1	n2	n3
D36	3638	32	—	—	—	2	—
D48	4838	32	—	—	—	4	—
D51	5120	85	21	—	2	—	—
D54	5438	32	—	—	—	5	—
D60	6038	32	—	—	—	6	—
D72	7238	32	—	—	—	8	—
D78	7838	32	—	265	—	9	1

# 基礎工事

## ⚠ 注意

- 基礎コンクリートやモルタルには、腐食性の強い塩素系混和剤（急結剤など）や強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。柱の異常腐食や、商品の破損につながるおそれがあります。
- 屋根ふき材の取り付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。コンクリートの強度が十分になるまで、過度の衝撃や荷重を与えないようにし、雨、霜、凍結、日光などに対してコンクリートを保護してください。（目安：4日～7日）基礎の強度低下につながるおそれがあります。
- 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを入れたあとに柱を立てると、柱内部に水がたまり凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。

## お願い

- モルタルやコンクリートなどが商品の表面に付着した場合は、速やかに拭き取ってください。外観不良(シミ・汚れ・つや落ち)につながるおそれがあります。
- 柱のレベル調整は、コンクリート・モルタルが固まる前に行ってください。固まった後の調整は、柱の強度が著しく低下するおそれがあります。
- 指定位置に必ず水抜き穴をあけてください。凍結破損や異常腐食につながるおそれがあります。

## 柱の埋め込み

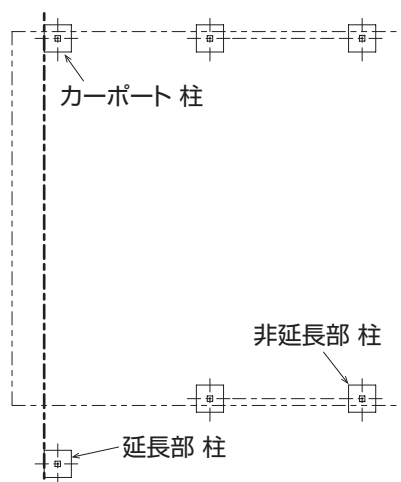
- 1 柱を埋め込んでください。

## 柱の水抜き穴加工

- 1 柱に水抜き穴をあけてください。「基礎コンクリートの打ち込み（→P.15）参照」

## 延長部柱の位置確認

- 1 延長部柱の後面とカーポート柱の後面が同一面になるように固定してください。



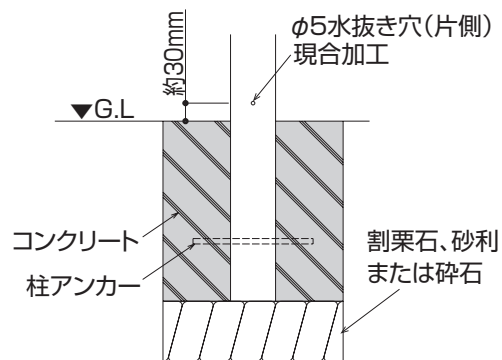


## 基礎コンクリートの打ち込み

1 基礎穴に基礎コンクリートを打ち込んでください。

### お願い

- コンクリートは十分に締め固めてください。  
ジャンカや空隙などが発生し、コンクリートの品質が低下します。
- 柱の水抜き穴はコンクリートなどで塞がないでください。塞がった場合は、水抜き穴をあけてください。水が溜まり腐食の原因および思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



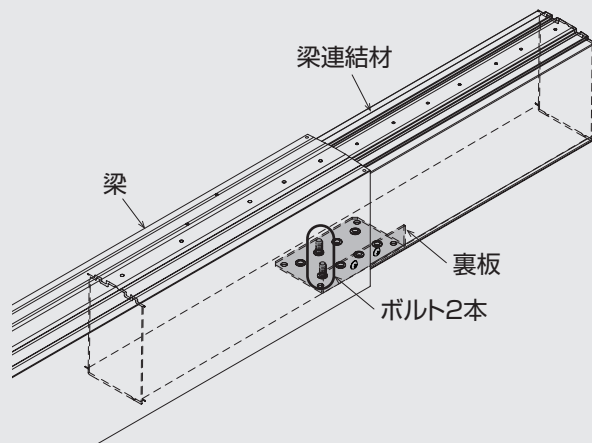
# 本体フレームの施工

## 梁の連結

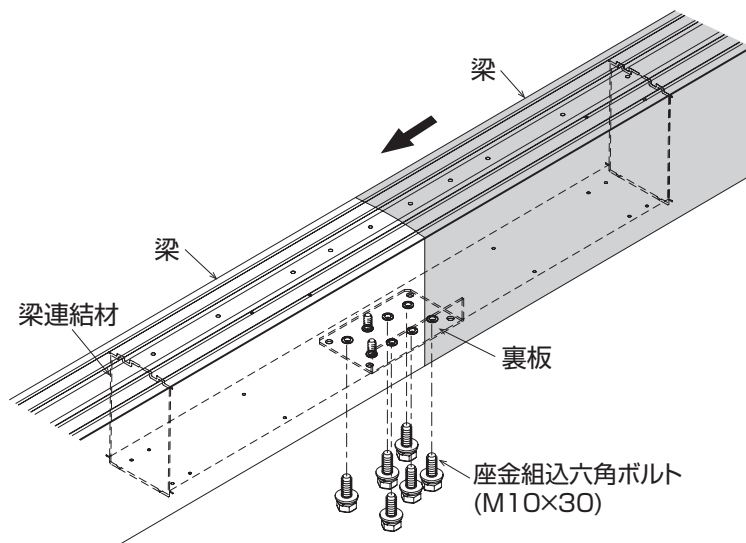


裏板は梁連結材にねじで取り付け済み、梁連結材は片方の梁にボルト2本で取り付けられて出荷されます。

### ● 出荷状態



1 梁を梁連結材に通し、ボルトで仮固定してください。



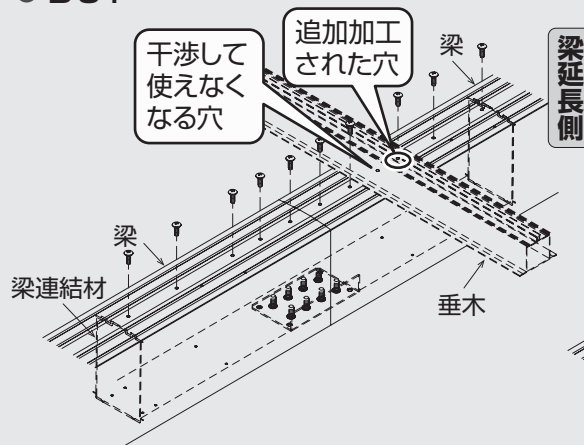
**2** 梁と梁連結材をねじで固定してください。



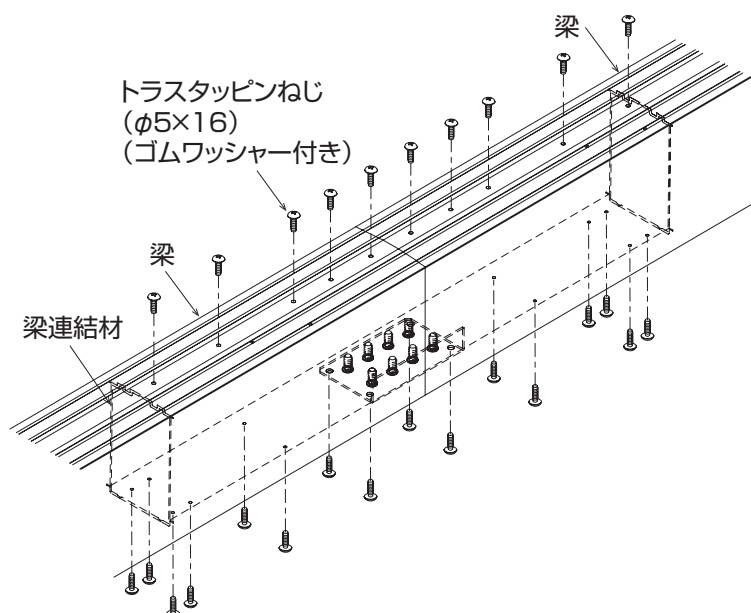
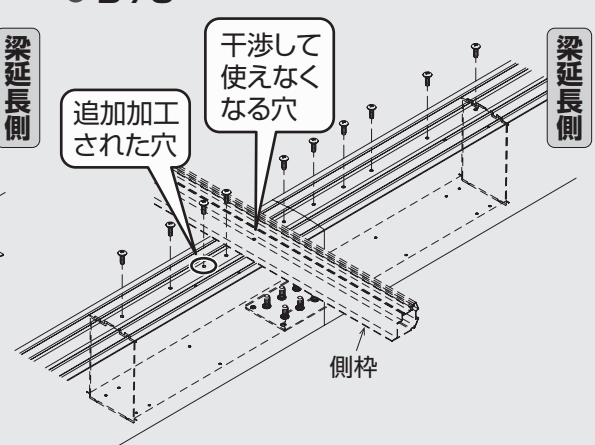
● **D51、D78の場合**

垂木、側枠の取り付け部が既存ねじ穴と干渉します。  
追加加工した穴を利用して梁上面片側5本で固定してください。  
固定ねじが4本の場合、強度低下につながります。

● **D51**



● **D78**



**3** 梁上面が、片側5本でねじ固定されていることを確認してください。

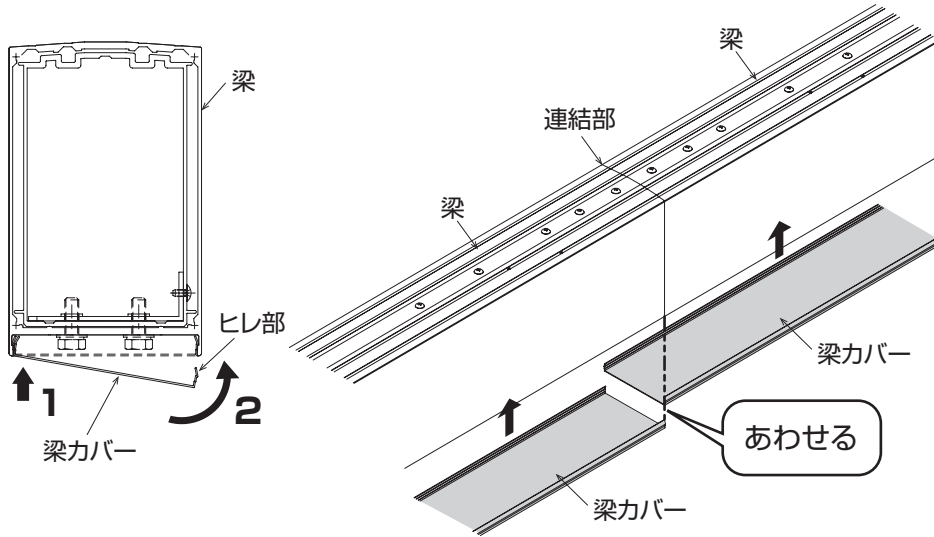
**4** すべてのボルトを本固定してください。

## 梁カバーの取り付け

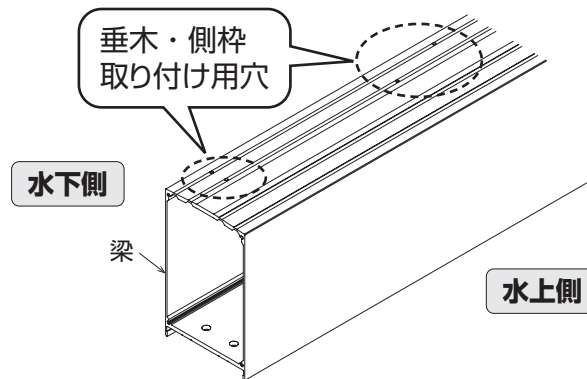


- 梁連結部に梁カバーの切断面をあわせてください。
- 梁カバー変形防止のため、連結部のボルト頭付近をたたかないでください。

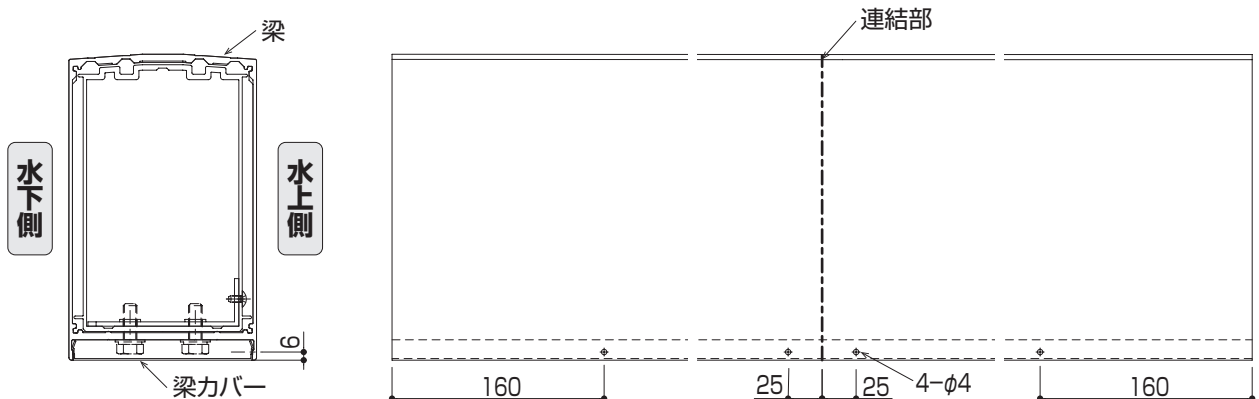
- 1 梁カバーの片面を梁に差し込んでください。
- 2 梁カバーを回転させながら、ヒレ部分を梁に押し込んでください。



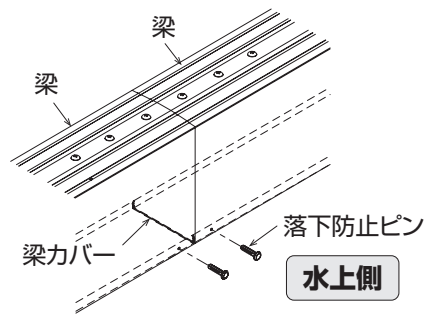
- 3 垂木・側枠取り付け用の穴加工側が水下側になっていることを確認してください。



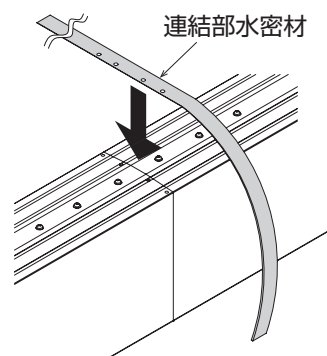
- 4 梁および梁カバーの水上側に穴加工(φ4)をしてください。



**5** 梁と梁カバーを落下防止ピンで固定してください。



**6** 梁の連結部を覆うように連結部水密材の穴を梁の穴とあわせて貼り付けてください。



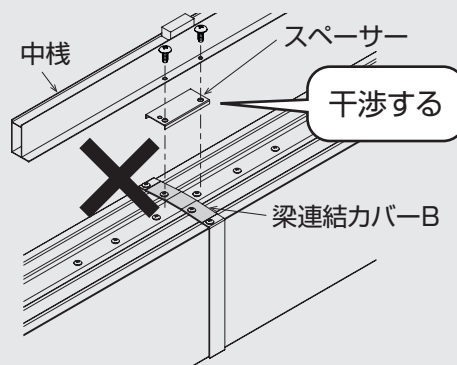
**7** 梁連結カバーAと梁連結カバーBを梁に取り付けてください。



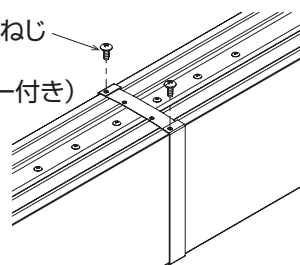
**・屋根下に梁連結部が納まる場合**

梁連結カバーBは取り付けしないでください。

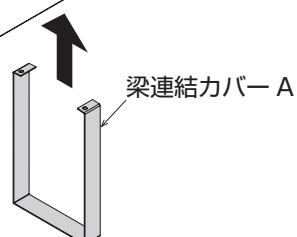
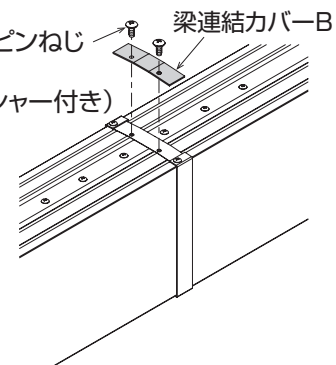
取り付けを行うとスペーサーと干渉し中棧の取り付けができなくなります。



トラスタッピンねじ  
(φ5×10)  
(ゴムワッシャー付き)



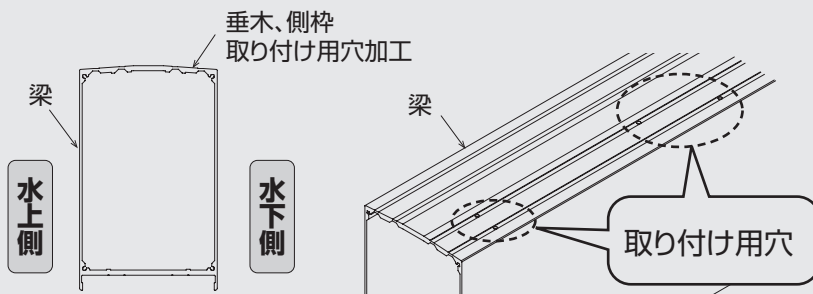
トラスタッピンねじ  
(φ5×10)  
(ゴムワッシャー付き)



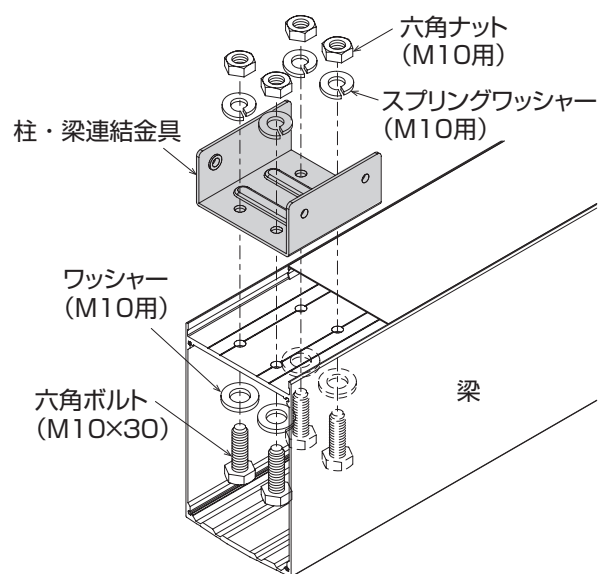
## 梁の取り付け



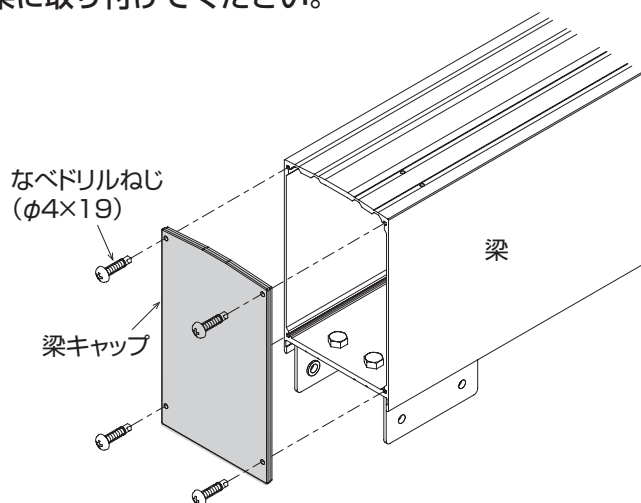
• 垂木、側枠取り付け用の穴加工がある方が水下側になることを確認してください。



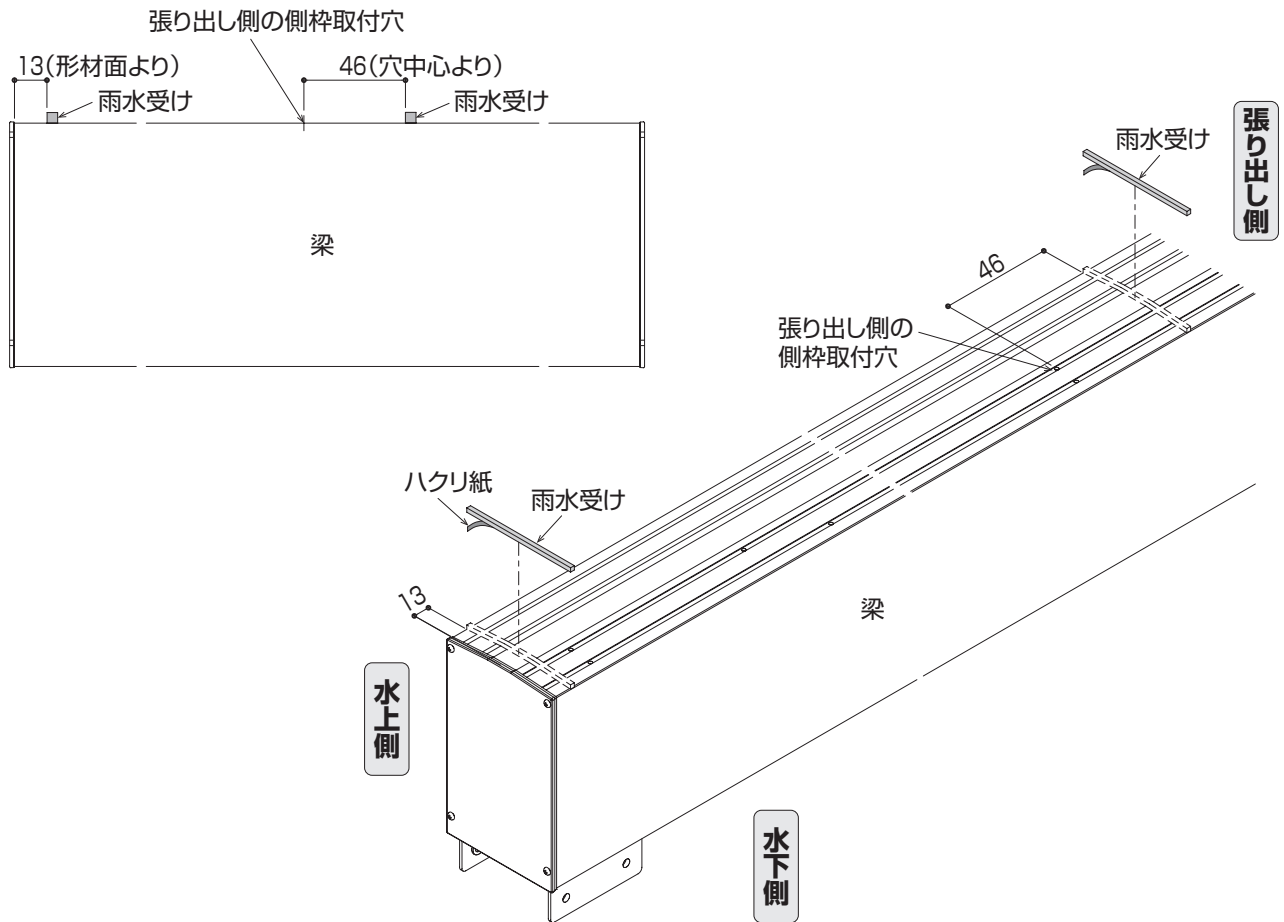
**1** 柱・梁連結金具を穴位置にあわせて、梁にボルトで固定してください。



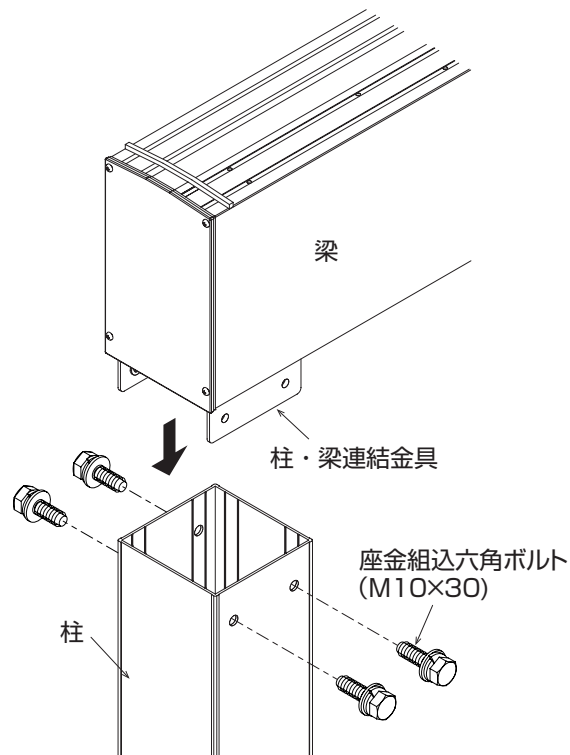
**2** 梁キャップを梁に取り付けてください。



**3** 雨水受けのハクリ紙をはがして、梁に取り付けてください。



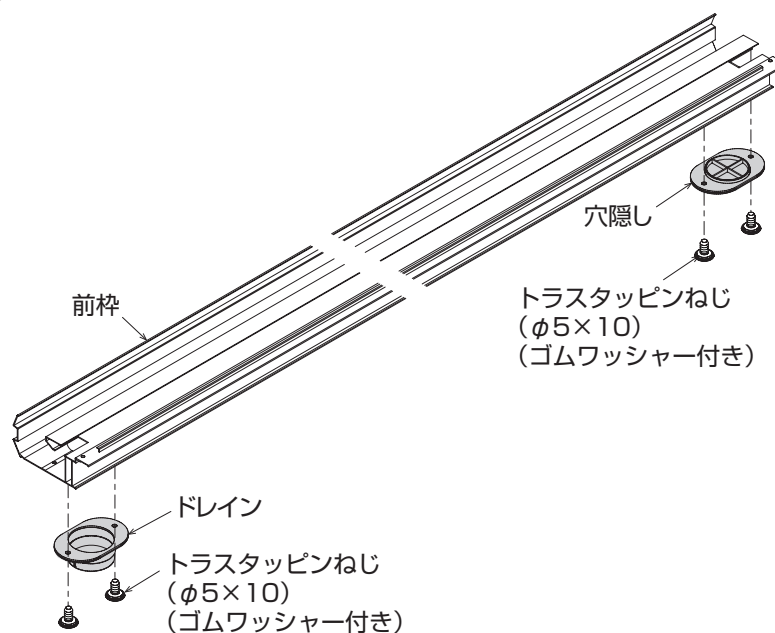
**4** 柱・梁連結金具を柱に通し、ボルトで仮固定してください。



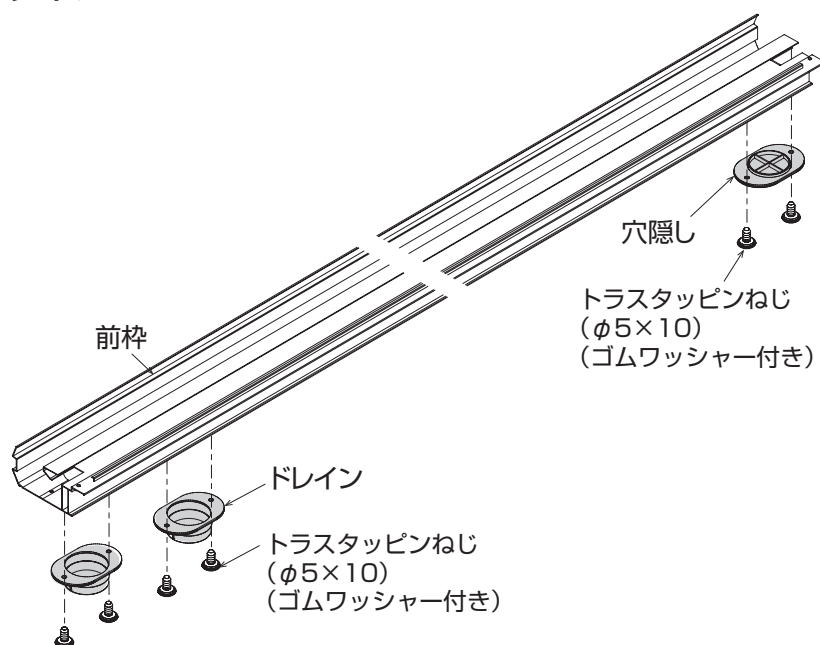
## 前枠の部品付け

1 前枠にドレイン、穴隠しを取り付けてください。

### ●ワイドタイプ



### ●ジャンボタイプ



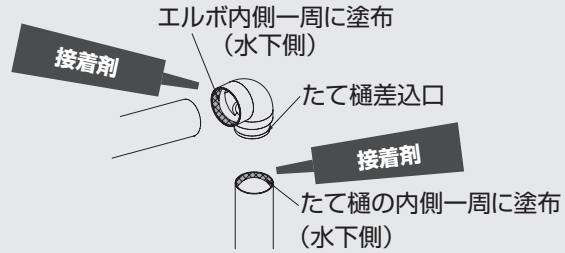
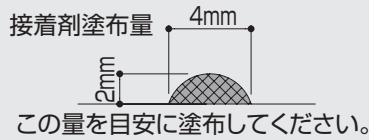


# 雨樋の施工

## 雨樋の施工

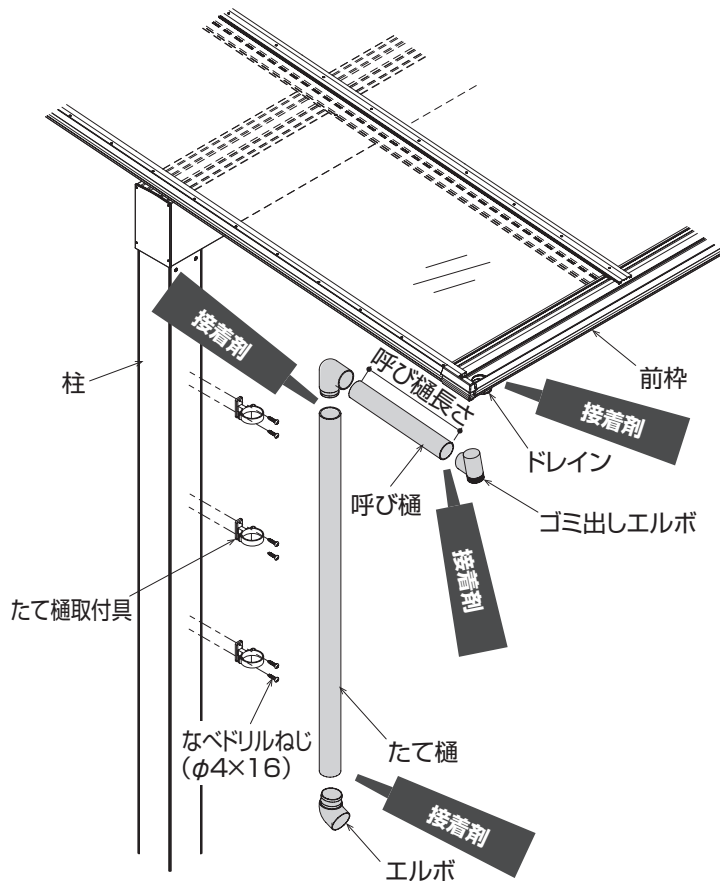


- 雨樋部品からの水漏れ防止のため、下記の要領で接着剤を塗布してください。必ず商品に同梱の接着剤を使用してください。

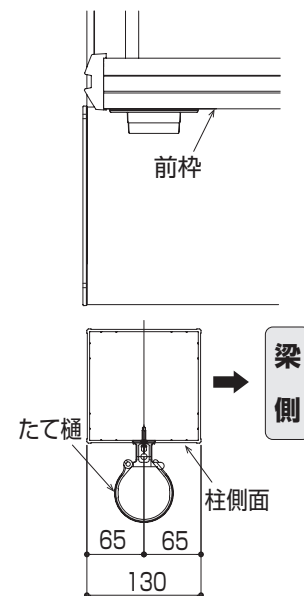


- 1 たて樋取付具を柱に取り付けてください。
- 2 呼び樋を取り付け長さにあわせて切断してください。
- 3 ゴミ出しエルボをドレインに挿入してください。
- 4 呼び樋をゴミ出しエルボに挿入してください。
- 5 エルボを呼び樋に挿入してください。
- 6 たて樋を取り付け長さにあわせて切断してください。
- 7 たて樋をエルボに挿入してください。
- 8 エルボをたて樋に挿入してください。
- 9 たて樋をたて樋取付具に取り付けてください。

### ●ワイドタイプ



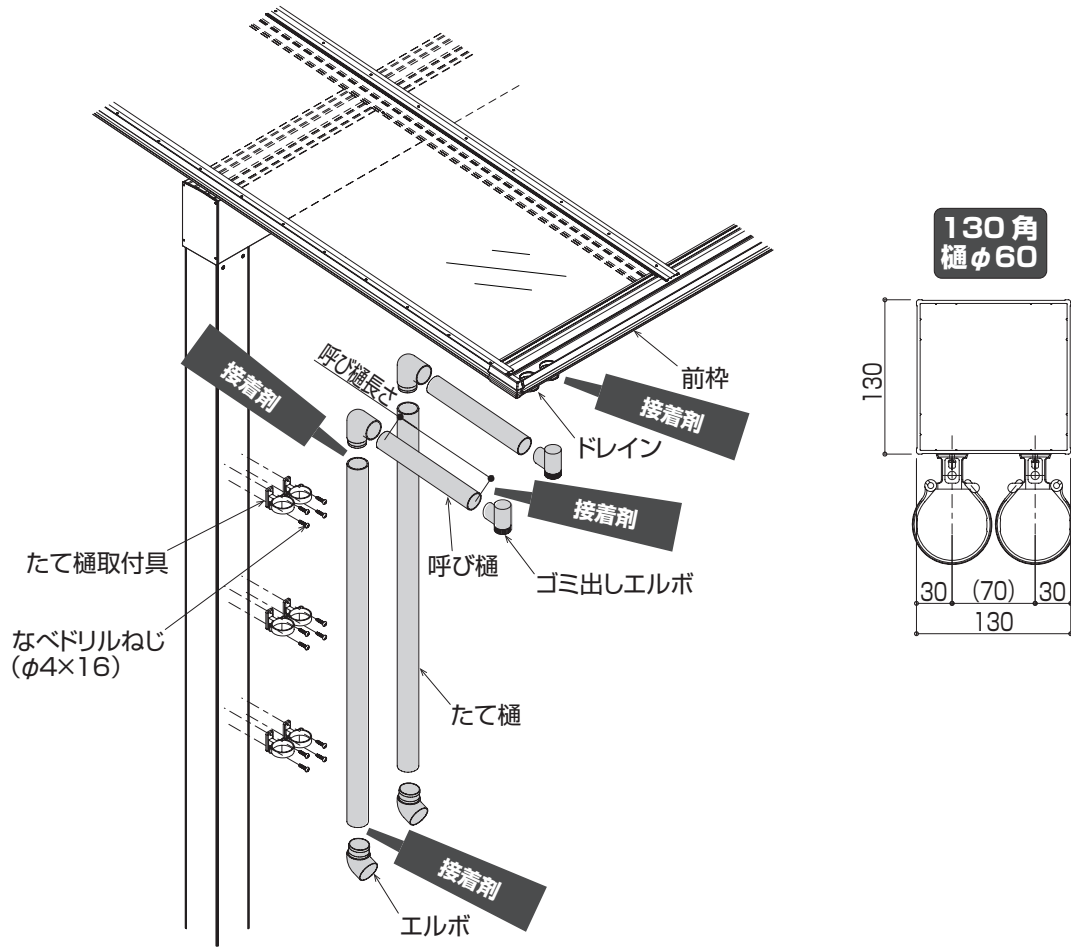
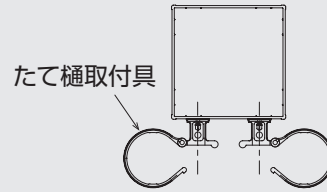
### ■取り付け位置



●ジャンボタイプ

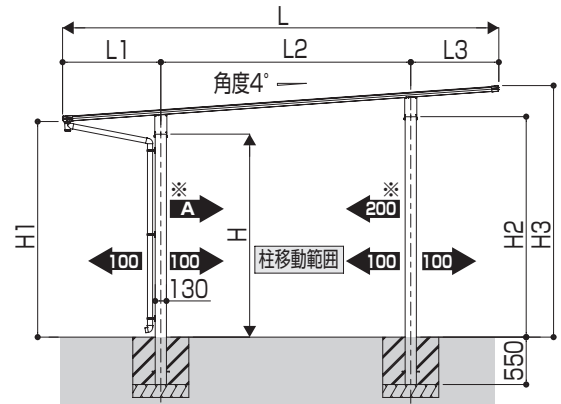
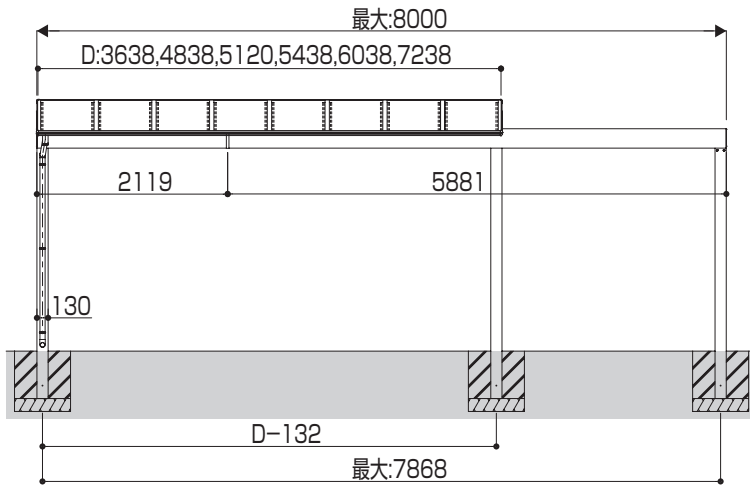


• 樋φ60のたて樋取付具は下図のように取り付けてください。



# 寸法図

## 梁延長8m



※大型テラスの場合の柱移動範囲

### ■ワイドタイプ

奥行呼称	高さ呼称	L	L1	L2	L3	H	H1	H2	H3
51	22	5062	1140	2900	1022	2200	2346	2403	2763
54		5410	1214	3100	1096	2200	2341	2417	2782
57		5778	1298	3300	1180	2200	2335	2431	2802

• H=2500(H=2800)の場合、H,H1,H2,H3は300(600)足した寸法にしてください。

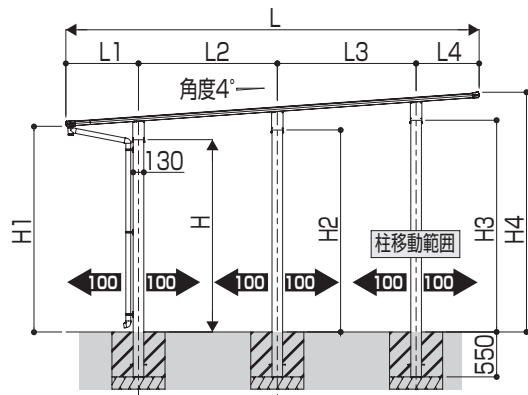
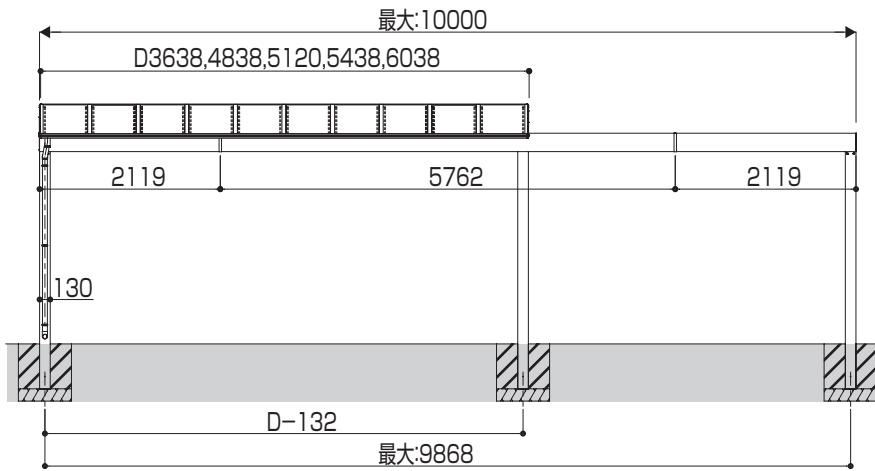
### ■ジャンボタイプ

奥行呼称	高さ呼称	L	L1	L2	L3	H	H1	H2	H3
51	22	5062	1140	2900	1022	2200	2346	2403	2763
57		5778	1298	3300	1180	2200	2335	2431	2802

• H=2500(H=2800)の場合、H,H1,H2,H3は300(600)足した寸法にしてください。

# 梁延長 10m

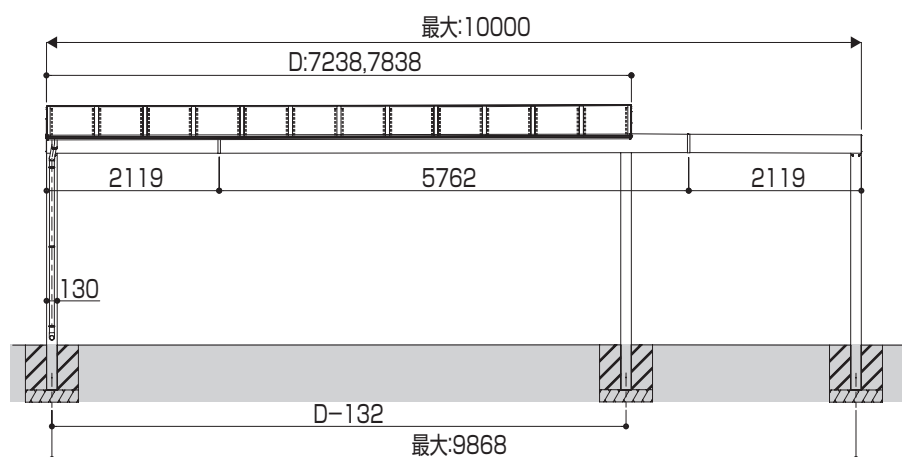
## ■ ワイドタイプ



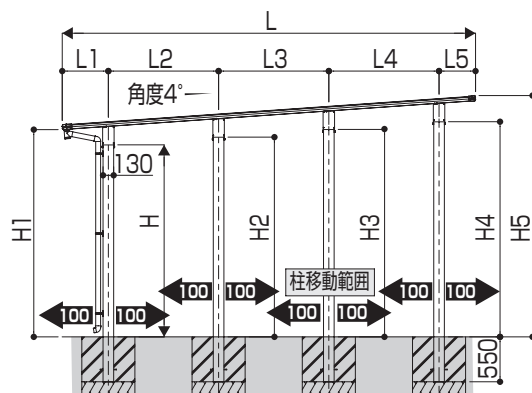
奥行呼称	高さ呼称	L	L1	L2	L3	L4	H	H1	H2	H3	H4
51	22	5062	890	1700	1700	772	2200	2364	2319	2438	2781
54		5410	864	1900	1900	746	2200	2365	2333	2466	2807
57		5778	948	2000	2000	830	2200	2359	2340	2480	2827

• H=2500(H=2800)の場合、H,H1,H2,H3,H4は300(600)足した寸法にしてください。

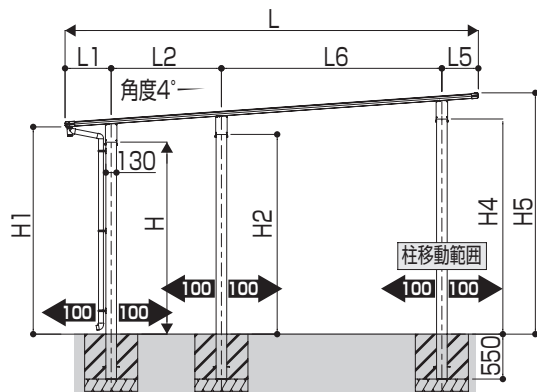
■ ジャンボタイプ



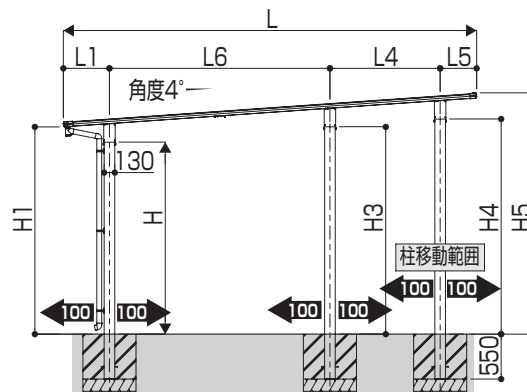
● すべての梁を延長する場合（4列仕様）



● 水下側の梁を延長する場合



● 水上側の梁を延長する場合



奥行呼称	高さ呼称	L	L1	L2	L3	L4	L5	L6	H	H1	H2	H3	H4	H5
51	22	5062	565	1350	1350	1350	447	2700	2200	2386	2294	2389	2483	2803
57		5778	698	1500	1500	1500	580	3000	2200	2377	2305	2410	2515	2844

• H=2500(H=2800)の場合、H,H1,H2,H3,H4,H5は300(600)足した寸法にしてください。

